

国語

▽ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

(池内了『科学を読む愉しみ』から)

問一 線アくオの漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二 線力くコのカタカナの部分の漢字で書きなさい。

問三 線A「日本語は、使いようで、実に論理的で正確な表現ができる」と筆者は言います。筆者がその例として挙げているものを一つ書きなさい。

問四 線B「詩情にあふれ」と同じような意味で使われている表現を五字で抜き出しなさい。

問五 線C「形容詞は形容される名詞のすぐ近くで使うというような、表現内容の時間的・空間的な距離が近くなるような言葉を配慮する工夫」とありますが、次のアくオの中で、修飾語（ ）の位置を変えると文の表す意味が変わってしまうものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア あの人はきれいな花をいつも密かに届けてくれる。
- イ 花屋にとっても赤い魅力的なバラが飾ってあった。
- ウ 私はかつとなつてナイフを手にした細い女の腕をねじり上げた。
- エ 雨の降る日はなんとなく気分がすぐれないものだ。
- オ 暗くさみしい森の中でやつと灯りを見つけた。

問六 線D「読点（、）の打ち方次第で意味が変わりかねない文章の場合、うるさくなつても複数の読点を打つようにしている。」とありますが、次のアくオの中で、読点（、）を打たないと文の表す意味が一通りの解釈に定まらないものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私は双子の妹と一緒にスイスへ旅行に行く母を空港まで見送った。
- イ 私の母は私ほど背が高くない。
- ウ 当旅館では各部屋の寝具に快眠枕を使っている。
- エ 兄に勧められた本を読んでみたがとても難しかった。
- オ 私は昨日妹と母が行ったという店へ出かけた。

問七 線E「このように書けない」とは、どのように書けないということですか。説明しなさい。

問八 線F「あぶはち虻蜂取らず」と同じ意味のことわざを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 一挙両得
- イ 値を二つにせず
- ウ 二兎とを追う者は一兎も得ず
- エ 一を識しりて二を知らず
- オ 一石二鳥

問九 この文章の①②③④⑤⑥段落を内容の上から二つに分けると、後半は何段落からになりますか。段落の番号で答えなさい。

問十 この文章の⑦⑧⑨⑩段落に見出しをつけるとどのような見出しが適切ですか。十字以内で書きなさい。